

「DPC 病院に対する調査」：1 次調査票

DPC 病院における連携先病院に係る診療科別調査

この調査は、DPC 制度が地域医療連携にどのような影響を及ぼすのかを全国的な規模で調査することを目的としております。貴病院を含め、全国の DPC 病院からのご報告を元に、連携の緊密な医療機関・施設に 2 次的な調査を致しますが、貴病院の評価を直接行おうとするものではありません。2 次調査に当たっては連携先病院に貴病院からのご報告に従った調査である旨をお伝えしますが、結果の分析にあつては、貴病院と連携先医療機関との関係を示す一切の個別情報について、これを推測できない形で慎重に取り扱うこと、機密の保持を充分に行うこと、貴病院および連携先医療機関の個別情報を削除した集計結果について報告させていただきますこと、この調査目的以外の使用をしないことを、調査を行う機関（DPC 評価分科会、厚生労働省）としてお約束申し上げます。

このことについて疑義なきことをご確認頂きましたうえで、貴病院の一般病床（歯科口腔外科病床、結核病床、精神科病床を除く）をご担当する各診療科にこのコピーをご配布のうえ、下記の調査にご協力をお願い申し上げます。

さて、貴病院における診療科での記入責任者につきましては、調査側としましては知る必要の無いことですので、ご報告いただかなくて結構ですが、私どもがお尋ねしなければならないことが生じた場合に、各診療科で記入にあられた方のお名前を適切に管理していただけますようお願いする次第です。

なお、この調査票の調査班へのご送付期限は、誠に申し訳ないこととは存じますが、平成 17 年 1 月 31 日とさせていただきます。期限において調査票を回収のうえ、貴病院より一括してご返送頂きますようお願い申し上げます。

診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会「医療連携と退院後受療に係る調査」班

酒巻哲夫（群馬大学医療情報部教授）-----調査事務局：群馬大学医学部附属病院医療情報部
池上直己（慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教授）
熊本一朗（鹿児島大学医療情報管理学教授）
三上裕司（総合病院東香里病院院長）
安川林良（松下記念病院院長）

DPC 病院用、診療科別調査票

DPC 病院名（ 診療科記入責任者名（ 貴診療科における平成 15 年度の入院患者数（延べ数 貴診療科における平成 15 年度の他医療機関等への紹介患者数（延べ数	（ ） ——貴病院管理用） 人） 人）	診療科名（ ）
--	---------------------------------	------------

質問 1. 下記の表に、貴診療科において、退院患者を紹介するにあつて緊密な関係にある上位 5 医療機関・施設について、その名および住所を正確にご記入ください。また、紹介数や紹介理由などの設問にお答えください。なお、順位は入院・入所についての紹介数を優先して付けていただきますようお願いいたします。

1 位 医療機関名		
住所（電話番号）<正確に>	()	
平成 15 年度の先方への紹介患者 延べ数	(1) 入院（入所）への紹介の人数 (概数 人) 直接の同日転院のみならず、退院後期日 をおいての入院・入所であっても、当初 の計画どおりであれば、これを含んで数 を報告してください。	(2) 外来（通所）への紹介数： 10 人未満 10 人～50 人未満 50 人～100 人未満 100 人以上
入院・入所について 主な紹介理由 (3 個まで選択可)	(1) 検査の依頼ため (2) 新たな治療を受けるため (3) 以前その医療機関で行われた治 療を再度受けるため。 (4) 当病院の現在の治療を継続する ため (5) 術後回復のため	(6) リハビリテーションのため (7) 癌の終末期緩和ケアのため (8) 保健福祉型の療養のため (9) 在宅療養に移行するため (10) 経過観察のため (11) 紹介もとである (12) その他
この 3 年間で、 この機関への紹介数の変化	(1) 増加する傾向にある (2) 変わらない	(3) 減少する傾向にある

注) 質問 1 は 1 位から 5 位まで同じものが続く。2 - 5 位の調査表は省略した。